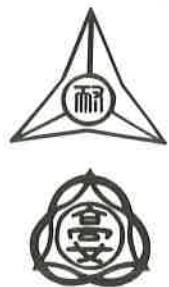




耐久高等学校同窓会報

耐久



遠山敦子前文部科学大臣
来校記念植樹

— 2003. 12. 5 —

濱口梧陵翁像横、庭園内に
「シマトネリコ」を植樹された。

No. 13

同窓会総会開催

本年度同窓会総会が、去る九月二十七日（土）本校会議室にて行われた。この日は耐久高校文化祭二日目一般公開日であり、さわやかな秋晴れにも恵まれ六十余名の同窓生の参加が得られた。

総会は、恒例の本校マンドリン部の演奏・校歌齊唱でスタートした。橋本同窓会長・上野百五十周年記念実行委員長・薮添校長のあいさつの後、議長には池田寿夫氏（高校18期）が選出され、経過報告、会計・監査報告、今後の活動計画――と議事は進行された。特に「同窓会報の購読と発送」「同窓会組織の充実」「同窓会館建設」等について活発に意見が交わされた。

本校放送演劇部制作の「学校紹介」ビデオ鑑賞の後、役員改選が行われ、新たに五名の方々の副会長就任が承認された。伏木副会長（高女22期）の閉会のあいさつにより、二年ぶりに行われた総会は成会のうちに終了した。

承認された新役員は以下の通り

新 同窓会幹部役員						
会長	橋本 佳巳	高 4				
副会長	伏木富紀子	高女22				
副会長	平松 厚徳	中学38	(新)			
副会長	清水 康夫	高 1				
副会長	宮井 慶三	高 7				
副会長	下野 憲英	高 13	(新)			
副会長	棚野 裕明	高 18	(新)			
副会長	法眼 貞子	高 19				
副会長	花野 正彦	定 11	(新)			
副会長	和泉 千恵子	高 20				
副会長	古川 友子	高 26	(新)			
副会長	平松 正彦	高 27				
会計	竹林 康輔	高 35				
会計監査	前勢 力	高女24				
会計監査	齋藤 春太郎	中学40				
会計監査	大田 勤	定 1				

— 同窓会事務局 —			
白井	敏之	高	34
川口	裕幸	高	36
清水	健一	高	37
脇村	幸子	高	26
中塚	一郎	高	27



今、同窓会に課せられるもの

昨秋の創立百五十周年には上野寛実行委員長を核に、多くの皆様のご理解とご支援に見守られ数々の事業を開催することができました。これに関する感謝のお札は何度も申し上げても言いすぎることはございません。紹介の確認と「耐久」への思いを実感させて頂きました。考えてみると、この不況、そして社会不安の中での募金活動よくも多額の净財が得られたものと、改めて感じているばかりでございます。

西博義（高19期）代議士の国政レポートにみられるように「濱口梧陵像の建立は、母校に魂が入った思いである。」まさに、これだけの事業だけでも、も節目にふさわしい大きな成果だつたと思います。亦、これを機に関東・関西・和歌山三支部の再興が、これから同窓会運営に大きな大きな収穫だつたと確信致しております。

しかし公立校と言えども安閑としておれない競争時代に入っている事は現実であります。大学の再編問題の次には当然、高・中・小、そして幼保に至る迄、問題が波及するのは必至でしょう。今こそ、必要以上に「教育」に大きく目を開く時ではないでしょうか。どうか母なる「耐久」への思いを今一度蘇えらせ、頂けますようお願いする次第です。

昨今、教育改革が大きく採りあげられ学校をとりまく環境が一段と変わらうとしており、少子化問題に加え小泉総理の「改革なくして進展なし」の掛け声は教育界にも大きな波紋をなげかけております。国公立大学の統廃

今般、総会に於きまして、役員の若干の入退が承認され、この程新発足をいたし、種々活動計画を練つております。何卒、支部活動への協力と併せ、何卒、旧に倍してのご叱責、ご協力ををお願いし、ご挨拶をいたします。

活動記

- ・同窓会館設立基金への運動
 - ・同窓文庫整備充実
 - ・同窓会報の発行（年二回）
 - ・学校への支援
 - ・開放講座
 - （先輩による授業・クラブ活動支援等）
 - その他

ようこそ耐久高校へ 遠山敦子先生！
遠山敦子文部科学省顧問来校 [12月5日(金)]



前文部科学大臣 遠山敦子ご夫妻と文化庁宗務課長 豊田三郎氏が、十二月五日(金)午前十時に本校を訪問くださいました。当日は後期中間考査の試験中のため、生徒を交えての出迎えはできませんでしたが、敷添校長・橋本同窓会長以下学校関係代表者でお迎えしました。

懇談後本校教職員代表ともあつていただき、文部科学省の施策やご本人の教育への思い等に

ついて親しく語つていただきました。
「耐久高校を訪れたいとの念願が叶いうれしく思っています。ほんとに綺麗な素晴らしい学校ですね。」とお言葉をいただきました。

した。

また、席上、小・中学校との連携等の地域に開かれた教育実践の一端を敷添校長が披露しましたが、「そのような実践が行われているとは知らなかつた。文科省の施策を先取された素晴らしい内容です。」と過分のお褒めをいただきました。

その後濱口梧陵先生の像前で記念植樹、生徒会代表の花束贈呈が行われました。わずか一時間ばかりの訪問でしたが、氏の気さくな人柄がよく窺え、心温まる貴重な時間を過ごすことができました。

遠山文部科学省顧問とは大臣在職時の昨年、本校創立五十周年記念式典で祝辞を頂き、また記念の揮毫（本校事務室前に掲示しています。）も頂いて以来の関係で、今回その縁で訪問頂きました。

なお、当日は西衆議院議員、和歌山大学 坂本事務局長、県教育委員会から板橋県立学校課長、一山生涯学習課長も同席されました。



学校関係者等との懇談



生徒会代表による花束贈呈



玄関内をご案内



学校職員代表との懇談

無念！ 甲子園にあと一步届かず



近畿地区代表校楯

第七六回選抜高校野球大

会二十一世紀枠に近畿地区

代表として推薦を受け全国九地区代表の仲間入りの栄

誉は、耐久野球史の一页を

飾りました。

「一世紀越しの悲願なるか

耐久」と多くの関心と地域の

期待を寄せられましたが、一

月三十日の選考発表は、八

幡浜（四国・愛媛）一関（東

北・岩手）の二校に名をなさ

しめる結果となりました。し

かし、補欠校の清峰（九州・長

崎）につぐ評価を得たことは、

創部一〇〇年を目前に大き

な成果であり、これ程励みに

なることは無いと考えます。

夢をもう一度、次なる挑

戦に大いに期待したいもので

す。

選抜二十一世紀枠
選抜大会に新風を吹き込む企画として創設された「二十一世紀枠」今回で四回目を数える。全国を九ブロックに分け①困難の克服②秋季県大会八強以上③甲子園出場機会に恵まれない学校：の三點をもとに各地区で代表校を選考。日本高野連と毎日新聞社の選考委員で二校を決定するものである。



監督 嶋田 雄介
主将 嶋田 雄介
・二十一世紀の候補に選ばれ去る年の冬とは全然違った感じで練習ができた。応援を背に一層頑張りたい。
野球部OB会長 下野 寛英

・ステップアップのために、良い機会を貰えてもらつた。これが耐久野球部の新たな始まりになる。

・またチャンスは必ずくる。更に力をつけ夢をかなえて欲しい。

・百年分の春を待ちにしていた地域の方々の期待にそえず残念。全国の舞台に立つただけでも光榮。これからもなお一層チームづくりに頑張つて欲しい。又、今回のことは野球部だけでなく、学校全体が評価されたと思うし、多くの方に耐久を知つてもらうきっかけとなつた。

・残念な結果に終わつたが、この悔しさを心に刻みつけ夏に向けて、和歌山代表を目指して頑張つてほしい。

連載
濱口梧陵(8)

梧陵は、ペリー来航を機に歐米の進んだ文化に着目し、是非それらの国々を歴訪したいと、強く熱望するようになる。

親友の勝海舟も、常々海外渡航を希望していたが、

日米修好通商条約批准の幕府使節団を乗せ、米国に渡ることとなる。この時、海舟は和歌山に梧陵を訪れ、米国に同行するよう勧めた。

その後、年齢を重ねるも梧陵の渡航熱は衰えず、明治十七年（一八八四）、家業を嗣子梧莊に譲り、一切の公職からも開放されると、世界の国々を歴訪する決意をする。

の末子浜口担任（一八七三～一九三九）が母校のイギリスのケンブリッジ大学で、「日本の女性」という題で講演を行つた。



逝去と余話

垣内自

終わるのをお待ちしていた。
しかし私は、一つの問題

に、感極まって一言も発言
することができなかつた。

くことが根本であり、財をつくることは枝葉のこと」と説く。

義塾出身の高島小金治を通訳に推薦、海舟は秘蔵の雑賀孫市の槍の穂先を贈つて

梧陵は同年五月三十日横浜出港、先ず米国に渡り西部を統いて東部を視察、その後の間病魔に犯され、遂に明治十八年四月二十

もに、その紀州沿岸を大津波が襲来したとき、身をもつて村民を救った浜口五兵衛（梧陵）のいることを知りました。私は、

た。司会者は拍の気持ちを会場の人達に伝えた。

あつたという、しかし、社会のため人々のためになることであれば、惜し気もなくその財を注ぎ込んだ。

梧陵の生き方は鮮烈である。後かも知れないと、当時の様子を伝える文章が結んで

るが、そのバックボーンには浜口家に三百年続く素晴らしい文化がある、吉田

らしい家憲があり、梧陵はそれを遵守したともいえる。

決して応報を求むる勿れ。

にまわってでも、その成就のため、その人を助け、成

功したからといって、決して驕りがましく、人に言う
触らすな」と諭す。

一、財は末なり、信は本

宜しく本末を明りかにすべし。



濱口梧陵翁墓所（庄川町・山本）

『濱口梧陵』の連載を終えて

垣内 貞

を送つてもらつた書籍代金
である。

連載期間中、各地で地震が
あり、南海・東南海・東海の
地震が近いのではともいわ
れた。

広川町には地震津波の研
究者や専門家が多く訪ずれ
られ、旧広村堤防など梧陵ゆ
かりの地を見学された。その
際誰もが異口同音に梧陵の
偉業を称えられた。

京都大学教授で地震予知
研究所長の梅田康弘博士は
見学後、早速上京、博士の先
輩で地震津波の研究で知ら
れる広川町出身の津村建四
朗氏(高4期)を訪ねられ懇談
されたという手紙を頂いた。

梧陵に関わる資料も色々
押見したが、中でも金屋町の
瀬藤家に保存されている同
家二代富右衛門(一八四七
一九〇七)の『庚明治三年正月
東京道中記』と表紙に
書かれた手記には心を打た
れ解説をさせていただいた。

手記の内容は、当時二十二
才の富右衛門が和歌山藩参
事濱口梧陵の依頼で、百両の
金を東京の福沢諭吉に届け
る道中記で、この百両は和歌
山藩の教育充実のため、梧陵
が親友の諭吉に多数の洋書

尚、連載中、次のような書籍を参考に
させていただいた。

『濱口梧陵伝』

『稻むらの火の教え方』

『稻むらの火』

『燃え続けてほしい稻むらの火』

『幕末維新期の文化と情報』

『胡蝶の夢』

『ヤマサ醤油店史』

『耐久校史』

『広川町誌』

『耐久高校同総会』

『司馬遼太郎』

『廣川町』

杉村楚人冠
今村明恒
中井常蔵
司馬遼太郎
宮地正人
藤本忠義
忍野維新
山形県立鶴岡南高校



山形県立鶴岡南高校

「遠くて近きは…」 宝山校長 余話



私事に亘るが、昭和十一年四月、亡父勇吉が福島県から耐久中学に転任し、挨拶に訪れた校長室で、母校

鶴岡南高校は明治十年開校、平成十年七月百十周年式典を挙行し、『自主・剛健・リークラブも特色ある活動をしているとか』

た「宝山良雄」校長の写真と対面したのである。大正二年耐久を去つた校長の赴任先是みちのく鶴岡の地だつたのである。

大正三年春、莊内中学校

九代目校長として赴任した宝山校長は、校史によれば人柄高邁・温厚な紳士・進歩的な考え方を持ち、学生に対するは「立身出世はしな

り、私も連載を書き上げた或

た『眞・美・健』の綱領を掲げて活躍されたであろう宝山校長の姿を思い浮かべながら校門を去つた。

しかし、本稿のテーマは

大正初期の耐久中学校と鶴岡市の中学校との奇しき縁のお話である。

耐久高校の創立百五十周年の記念事業も成功裡に終り、私も連載を書き上げた或

ては」を実感した次第。

しかし、本稿のテーマは

大正初期の耐久中学校と鶴岡市の中学校との奇しき縁のお話である。

しかし、鶴岡における儒教一辺倒の教育者と相容れず、三年有半にして岐阜中学校に去つたそうである。

さて、今回父祖の墓参・イベントの見学・友人知人と交流などの一時を割き鶴岡南高校(旧莊内中学)の門前に佇んでみた。私が子どもの頃、公園のお堀の傍に古色蒼然と横たわっていた校舎は堂々とした校舎に変貌し、部活に励む生徒諸君の掛け声が響いていた。

(当校はコーラス部の活躍が目覚ましく、アーチェリークラブも特色ある活動をしているとか)

鶴岡南高校は明治十年開校、平成十年七月百十周年式典を挙行し、『自主・剛健・

叡知』の精神を校是として文武両道の確立を目指して頑張っているとのこと。

耐久時代に標榜し実践した『眞・美・健』の綱領を掲げて活躍されたであろう宝山校長の姿を思い浮かべながら校門を去つた。

冬、白銀に覆われる庄内

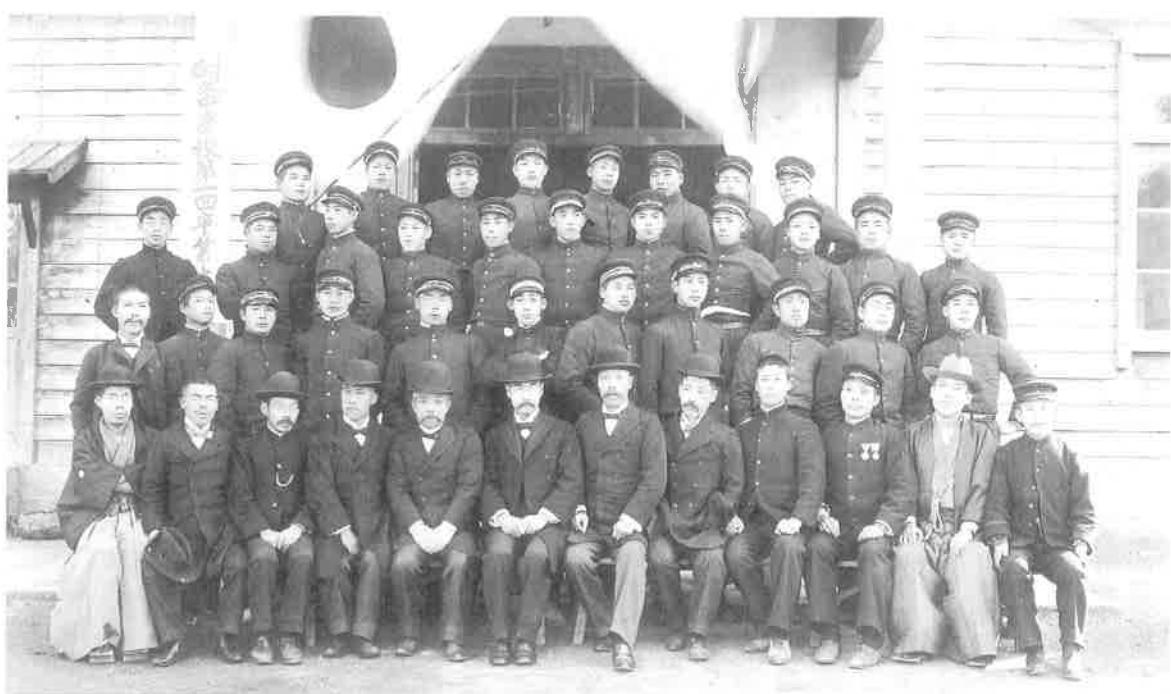
地方・眞っ青な空にミカンが映える有田、なにかの形で両校の交流を願いたいものである。

齋藤春太郎

最近まぎらわしい呼びかけの電話や郵便が多くなった様です。十分ご注意下さい。

旧制耐久中学校第一回卒業生(明治41年)

[生徒三十名]



日の丸と三一会旗(右)をバックにしての記念撮影

この写真は津村建四郎氏(高4期)より提供された記念写真で前二列目左から二人目が亡父津村嘉四郎氏。

※お願い——先生方のお名前ご存じの方は事務局までご一報下されば幸です。

今川凍光氏 (旧中25期)
地域文化功労者
文部科学大臣表彰を受く。



同窓会活動報告

- 8月25日(月) 同窓会・幹事・評議委員会…
(於本校)
- 9月27日(土) 同窓会定期総会(於学校)
- 11月8日(土) 新旧役員会(歓送迎会)…
(於美屋井)
- 13日(木) 硬式野球部創部100周年実行委員会(学校)…校長他・会長
- 12月5日(金) 遠山敦子文部科学省顧問来校(学校)…校長他・会長
- 17日(水) 会報委員会
(16年)
- 1月13日(土) 梅本正之氏を囲んで(体育館)
12年全員・一般 他

俳句歴七十一
俳句の魅力は「一日として同じことのない大自然の変わり目に出会えること」「休まないことが大切、休んだら後戻りしてしまう。」と言う。
広川町の農家に七人兄弟の末つ子として生まれる。叔父が住職を務めていた下津町の東光寺から、旧制耐久中学に通い戦後寺を継ぐ。
八十九才を迎えた昨年十月の句
誕生日 鶴祝ひに来てくれし

明治三十八年(一九〇五年)創部の百周年を迎えることから、OB会・保護者会・学校関係者協力のもとに、去る十一月十三日(木)、第一回の実行委員会(計十四名)は左記の通りです。今後は、記念事業の具体的な内容等を検討してまいりますので、OB各位のご協力をよろしくお願い申し上げます。

実行委員長 下野憲英

副委員長 松本秀法

事務局長 上山 望

次会実行委員 柴田秀作

小熊紀史

橋本佳巳

薮添泰弘

堀川昭生

中仲一

山下紀和

杉村明信

伊藤正夫

山下正晃

耐久硬式野球部

「創部百周年記念実行委員会」発足



阪神タイガースリーグ優勝の陰に鬼軍曹梅本ありと言わせた虎風荘の名物寮長が四十八年間阪神ひとすじの中貢献した若トラ飼育法とは…。

高7期卒業の梅本氏は昨年末阪神を退団され、これを機に執筆されたものである。

日刊スポーツ出版社

支部連絡先

関東耐久会

会長 高居富一
〒112-8668 東京都文京区関口1-44-10
(株)アイ・エヌ・エー 4F
Tel 03-5261-5885

関西耐久会

会長 阪本禎三
〒537-0022 大阪市東成区中本2-12-8
阪本禎三
Tel 06-6971-8708

和歌山耐久会

会長 北一視
〒641-0034 和歌山市新高町6-9
北一視税理士事務所
Tel 073-445-1133

同窓会への問い合わせ・ご提言は、何なりとお申し出下さい。



有田高女と私

飯田千代

校長先生はどんなお方か、学校の生徒達はと、不安一杯で唯友人の紹介状一枚を頼りに戦時下の都会より疎開を兼ねての就職でした。面接を受けて直ぐ採用と決定し、四月より勤務する様にと温かく受け入れて戴き、安堵して大阪住吉の家に帰りました。

新学期早々四年三組（23期生）の担任となり、顔と名前を憶えるのに必死でした。五月過ぎの暖かい日の授業中、居眠りする生徒達、窓の外一面に大きな花のけし畑が連なつて何とも言えぬ良い香りが漂い流れ込み、眠りを誘うのでした。

調理実習も材料不足で越（よこすか）^{よこすか}も混ぜて代用食のパンを作つたり、野草を摘んでお浸しを作つたり、何とも言えぬ良い香りが漂い流れ込み、眠りを誘うのでした。

そして二十年八月十五日広工場（落下傘製造）動員中に終戦を迎えたのです。茫然自失・自信喪失、頭の中は真っ白で、百八十度転換の教育方針に戸惑うばかりで、二十三年三月四年間担任した27期生の卒業と一緒に退職し大阪に帰りました。

僅か五年間の在職でしたがその中味の濃さ・厚さ・重さは数十年かかるとも得られぬ経験でした。

草履で霜柱を踏み乍ら、遠い工場まで列を組んで歩いていったことなど、工場がB29の爆撃を受け、爆弾投下の下を町家の軒下伝いに死にもの狂いで全生徒を寮まで走らせ、一人の死者も出さなかつた時の喜び等々……。

自分の遠い記憶の薄れゆく中に筆舌に尽きせぬものがございました。

現場で作業する生徒達を見廻つたり、時には生徒を庇つて係長と喧嘩もしました。遠く離れた高槻での寮生活では、僅かの時間を利用して勉強もしました。生徒の急性盲腸炎の開腹手術にも立ち会いました。

新一年生（27期生）の担任となり、戦時下の厳しい中でも楽しい学校生活を送つておりましたが、とうとうこの地方の学校にも「学徒動員令」が参り、24期生を連れて満員列車に圧し込まれて、兵庫県の明石工場（飛行機部品製造）に行きました。

退職後の私も人生の喜び・悲しみ・痛みを味わい、有田時代のことはすっかり忘れ去り、思い出すことも無く日々を過ごしております。

田での五年間の絆の温かさ・強さを
ひしひしと感じ、嬉しく思つて帰りました。

ります。毎日の暗い傷ましいニユースに心が痛みます。悲しいことです。
お蔭様で私は現在、少子高齢化の社会の中で、多少でも福祉に役立つようになると在住の県・市・町の老人会に籍を置き、ボランティアなど多忙の日々を送っております。

湯浅の駅に立つた半世紀前が昨日の様に思い出されました。
有難うございました。

平成十五年十二月記

(三重県四日市市在住)

— 耐久150周年記念 —

◆「耐久校史」発刊

150年の歩みを広角的に網羅した労作です。
是非お求め下さい。

¥5,000

八上 17.1.1 当地来苏果： 771-2727-68-4148

◆校歌集CD 発売

期毎の同窓会時に
便利かと思います。

¥1,500

7-2727 69 1142

◎「同窓会文庫」へのお願ひ！
同窓生の著書充実に是非ご協力を
お願い致します。
(学校事務局迄ご連絡下さい)

(学校事務局迄ご連絡下さい)



- ⑤ アセ・バランで包む
④ 食酢に浸した塩サバ
③ 寿司形に握る
② 布巾に包み捏ねる
① 炊いたご飯をさます



年を重ねるにつれ、同窓会作業に感謝しつつ、同級生の奥さんとの指導で始まつた。

秋晴れの十月十九日に東京港のお台場にあるホテル日航に十五人が集まりはるか遠い故郷と母校を思い語り合う、一年一度の楽しい時間を過ごしました。なれ寿司の差し入れもあり、同窓会報や母校関係の資料をもらつて思い出話に花が咲き、時の過ぎるのも忘れて談笑は尽きず、声高らかに校歌を齊唱し、来年の再会を約して家路につきました。

(中尾美智子記)

過日開催した「高校10期三年組」同級会の場において上記の願望を具現すべく『なれ寿司伝承会』を設立した。そもそも「サバのなれ寿司」は、紀州有田・日高地方独自

私達は故郷の発展と成長を願いつつも、山紫水明と豊かな食と味わいがとりわけ懐かしく感じる。故郷はこの上ない皆の座標軸であり、故郷の伝統と文化は何れの地に生活する者にとっても、心の奥底に大切にしまわれている誇りもある。

郷土を離れると郷土の伝統や文化、紀州有田の豊かな食と味わいがとりわけ懐かしく感じられる。故郷はこの上ないもので往時より家庭で作られ、夫々の味を競つたものである。

現在でも、地元で生活している者にとっては、季節を問わず食べる機会があるが、故郷を離れて生活を営む者にはそれも叶わない。

- ⑥ シュロの葉で括る
- ⑦ アセ・バランを敷き桶に詰める
- ⑧ 二～三%の塩水を流し入れる
- ⑨ バランで蓋をする



懐かしい「なれ寿司」を自分の手で作りたい・味わつてみたいとの意欲が結集し、秋祭りが近付きサバが美味しくなる九月二十八日、呼び掛けに応じた大阪からの家族も含め、総勢十二名が「なれ寿司作り」に挑戦した。

前日までに地元同級生によつて準備された「サバの塩抜き・骨抜き、アセ・バランの調達」等の

高6期在京耐久会記

秋晴れの十月十九日に東京港のお台場



YUKIHIKO TAKEHARA
KLAVER
Bach-Busoni Chaconne Schönberg
Montag, 1. März 2004 Brahms-Saal
TICKETS 505 8190

同窓生はじめ関係筋では世界に羽搏く機会として今回のリサイタルに大きな期待をよせている。



2004.3.1—19:30

竹中勇記彦先生

ウィーンに於けるピアノリサイタルの
ご成功をお祈りいたします。



伏木ピアノ教室
コンティヌオ(OB会)
門下生一同



高10期

なれ寿司作りに挑戦!

高校10期三年五組

音楽の都ウイーンで
竹中勇記彦氏(高22期)
ピアノリサイタル開催!

来る三月一日、ウイーン・ムジークフェライン、ブライムス・ザールで開催される。

氏は昭和二十六年生まれ、湯浅町出身。

耐久高より武蔵野音楽大学、音楽大学助教授。自主企画のリサイタル他、

幾多のコンサートに出演。

関東耐久会 親睦行事盛況



十二月九日（火）九鬼副会長の発起、大野副会長のお世話により、千葉県木更津市のザ・カントリークラブ・ジャパンで第一回のゴルフコンペが開催されました。集合写真を撮影した後、高居会長の力強いスイングにより、第一打が放たれ、快晴のもと、参加者十一名がスタートを切りました。九月の関東耐久会バス旅行の際、九鬼副会長より十二月に親睦ゴルフ大会を開催するから参加して下さいと声を出しました。ゴルフの腕前の方も自信がなく、最終案内を見たがて頂き、最初は迷っていたのですが思い切って参加の返事を出しました。ゴルフの腕前の方も気持ちで当日ゴルフ場まで安な気持ちで当日ゴルフ場まで来ました。顔を合わせてみれば、大先輩ばかりで、少し不安な気持ちはあります。

高居会長の力強いスイングにより、第一打が放たれ、快晴のもと、参加者十一名がスタートを切りました。九月の関東耐久会バス旅行の際、九鬼副会長より十二月に親睦ゴルフ大会を開催するから参加して下さいと声を出しました。ゴルフの腕前の方も自信がなく、最終案内を見たがて頂き、最初は迷っていたのですが思い切って参加の返事を出しました。ゴルフの腕前の方も気持ちで当日ゴルフ場まで来ました。顔を合わせてみれば、大先輩ばかりで、少し不安な気持ちはあります。

部活OB・OGたちの

絆

水上競技部の巻



平成15年度 新メンバー (1・2年生)

しかし、シーズン中の県外遠征や冬季の室内プール泳ぎ込み、年中無休の朝練習など他校には負けない練習を積ませ乗り越えてきた結果、好成績を挙げる事が出来ました。

二年目で県総合体育大会優勝、三年目には和歌山県で二十六年ぶりの近畿総合体育大会ベスト8。

本年度は昨年度と同じ成績で終えましたが、卒業生に助けられ充実したシーズンとなりました。

これから課題は、全国レベルの近畿勢に勝ち全国大会に出場するために日々の練習をより充実させ、県外遠征を増やし選手達に様々な経験を積ませることが大切だと考えています。

これから地域の皆様、同窓会の皆様方のご指導ご鞭撻を頂き、成長して行きたいと考えていますので宜しくお願い致します。

顧問 上野 真吾



Echo!

- ・選抜二十一世紀枠、ガックリです。残念で悔やしくて涙が出ました。
- ・一体どうしてなんだよ。孫が入試に失敗したような位、悲しいです。
- ・登尾正晴様（旧中27期）
- ・森三男三郎先生
- ・有田高女26期生（匿名二名様）
- ・小野澤瑩子様（高女26期）

◆今回も協賛広告の他に会報へのご寄附を頂戴しました。ご厚志有難く御礼申し上げます。

甲子園でみんなで応援したかったのにね。やけ酒飲みたい気持よね。クヤシイ!!

（東京）ゆり子

いにしえの高校時代を懐かしながら熟読させてもらっています。

企画・編集・経費算段等、その勞に感謝しております。

伊藤弘一（高4期）

・「二十一世紀枠、八幡浜に次いで選出されるものと大きな期待をもつていただけに残念。これをバネにつぎへの夢を追つて欲しい。」

大きなハートと共に大枚を頂戴した。

江川瑞峰氏（高15期）

同窓
歌壇



同窓
柳

寺田裕美（高5期）

・梧陵さん わけて下さい。爪の垢
・さつそうど 青い果実にある無限

・立ち止まり 誰とはなしに問いかける
自分の心に素直であるかと

下野香代（高20期）
小池雅子（高25期）

母校にも春遠からず来よ

特別記念号を除き、定期的に年間二度の発刊を続けてきた本会報も、第十三号を数えるに至った。

同窓の皆様方の間にも、次第に会報の存在が周知されてきて、資料や原稿、貴重な助言や浮財など寄せられることが多くなった。心強く、嬉しい限りである。今号まで本会報が滞りなく発刊できたのも、これら多くの方々の物心両面にわたる支えによるものであり、改めてお礼を申し上げた。

今回は、昨年末以来、遠山敦子前文部科学大臣の来校、梅本正之阪神タイガース「虎風寮」の前寮長によるトークショーンなど行事が重なり、それらの記事で誌面を飾ることができた。

年二回発刊する本会報の奇数号は、その年度の卒業生諸君への餞の意味を込めている。今年も、変革の渦中と思われる社会に向かつて巣立つてゆく諸君の健闘を祈り、この三号を贈る。

連載「濱口梧陵」が完結した。愛読を謝するとともに、筆者に対してもお礼を申し上げたい。

*お詫びと訂正:
十二号十一ページ「同窓歌壇」
一望に美し→一望に羨まし

『編集後記』